42 鮫川村（さめがわむら）

コード番号	074845	類型	Ⅰ－0

村章	所在地	〒963－8401 東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５
	所在地標高	海抜　420.00ｍ
	ＴＥＬ	0247－49－3111　ＦＡＸ　0247－49－2651
	ＵＲＬ	https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/
キャッチフレーズ	まめな暮らしが息づく　ふれあいの村づくり	
村花	やまゆり	ＰＲキャラクター
村木	しらかば	ゆうきくん
村鳥	キジ	

区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)
村長（１期）	宗田雅之（そうだ まさゆき）	令和９年８月30日	528.0千円
副村長	板垣良夫（いたがき よしお）	令和11年３月31日	481.0千円
議長	前田武久（まえだ たけひさ）	令和９年４月29日	234.0千円
副議長	緑川茂（みどりかわ しげる）	令和９年４月29日	176.0千円

村の概要

（自然条件）
本村は、福島県の南端、阿武隈山系頂上部にある農山村で、標高は400～700ｍで起伏が多く、全面積の76％が森林原野である。気候はおおむね表日本型で、平均気温は10℃、年間降水量は1,200～1,500mm程度で、積雪量は少なく、高原性の気候である。

（産業・経済）
本村の産業は、農業を基幹とした第１次産業を中心として発展しているが、経済の伸長に伴い産業構造が変化し、第２次、第３次産業に依存する割合が高くなっている。また、基幹産業である農業の振興と、循環型社会の形成を図るために「豊かな土づくりセンター『ゆうきの郷土』」を中心とした有機の里づくりを推進し、循環型農業の核となる堆肥化製造施設を整備。バイオマス資源を活用した良質堆肥の製造を行っている。

（観光・文化）
強滝、江竜田の滝、天狗橋の新緑と紅葉、広大な草原を利用した鹿角平観光牧場がある。また、県指定重要文化財、県指定天然記念物や村指定史跡などがある。

（伝統行事・伝統芸能）
奥州鮫川太鼓。

（特産品）
特別栽培米、夏秋トマト、エゴマ、木炭、大豆加工品（豆腐、味噌、きな粉）など

Ｒ７年度重点事業

(震災以外)	○デマンド交通実証運行事業委託	9百万円
〃	○関係人口創出サイト拡充業務	2 〃
〃	○保育園留学システム保守業務	4 〃
〃	○良好な環境創出活動推進モデル事業	2 〃
〃	○高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定	4 〃
〃	○農業用水路修復工事	40 〃
〃	○広葉樹林再生事業	92 〃
〃	○特定地域づくり事業補助金	4 〃
〃	○星座イベント	2 〃
〃	○気象観測クラウドシステム導入	40 〃
〃	○公共学校等複合施設整備事業	205 〃

主な地域開発区域指定状況

辺地　過疎　準過疎　山村　豪雪
特豪　農産　特農　原発

区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積
Ｈ17年国調	4,322人	617人	1,285人	1,110世帯	88世帯	131.34㎢
Ｈ22年国調	3,989人	487人	1,253人	1,106世帯	106世帯	人口密度
Ｈ27年国調	3,577人	434人	1,218人	1,064世帯	100世帯	23人/㎢
Ｒ２年国調	3,049人	316人	1,221人	1,006世帯	131世帯	
Ｒ6.1.1住基	2,975人	261人	1,240人	1,073世帯	高齢化率	41.68% 県下15位

産業別就業人口（Ｒ２年国調）	第１次産業	第２次産業	第３次産業	一人当り分配所得（Ｒ３年）
	（20.8%）350人	（38.4%）645人	（40.8%）686人	2,312千円 県下52位

有権者数Ｒ7.3.1	男	1,316人	女	1,212人	計	2,528人

議員	(旧)法定上限	14人	条例定数	10人	衆議院議員選挙区
	現員	9人	任期	令和９年４月29日	第３区

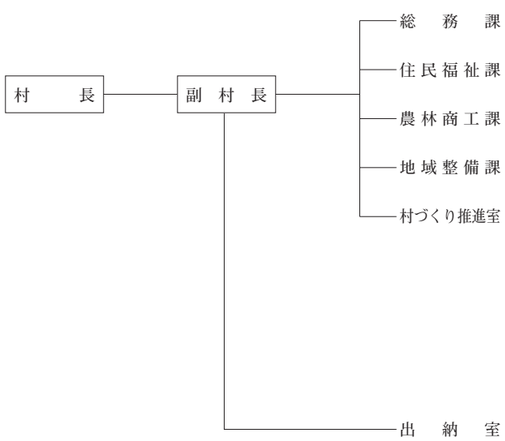
村の沿革

明治22.４.１合併　西山村、赤坂西野村、赤坂中野村、赤坂東野村、石井草村、富田村、渡瀬村

総合計画等の策定状況

名称	鮫川村デジタル田園都市構想総合戦略
策定年月日	令和６年９月25日
計画期間	令和６年度から令和９年度まで

組織機構



一部事務組合等への加入状況

白河地方広域市町村圏整備組合
東白衛生組合

職員数				
一般行政職員	51人	技能労務職員	0人	条例定数
教育職員	4人	その他	13人	84人
		企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、１年を超えて勤務する定数外職員を含む。		

	Ｒ3	Ｒ4	Ｒ5	Ｒ6
職員総数	69人	68人	68人	68人

財政（普通会計）

(1) 決算

（千円）

区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高
Ｒ３決算	4,035,807	3,803,921	231,886	217,082	35,308	2,462,783	676,047	2,346,323	187
Ｒ４決算	3,724,361	3,444,821	279,540	263,737	64,324	2,634,536	693,716	2,128,440	140
Ｒ５決算	3,652,225	3,275,531	376,694	254,531	45,611	2,805,265	748,533	1,997,661	99

(2) 指標（　）は類似団体

（千円・％）

区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率				資金不足比率	
				実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	比率	備考（事業名等）
Ｒ３決算	（2,493,947） 2,244,893	（0.20） 0.17	（79.4） 80.1	－	－	（7.5） 6.4	－		
Ｒ４決算	（2,429,371） 2,158,796	（0.19） 0.17	（83.0） 87.9	－	－	（7.5） 6.8	－		
Ｒ５決算	（2,456,466） 2,108,532	（0.18） 0.17	（84.2） 81.7	－	－	（7.7） 6.4	－		

(3) 主な歳入（　）は構成比

（千円・％）

区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計
Ｒ３決算	（6.7） 268,781	（48.0） 1,938,186	（9.5） 383,972	（8.7） 351,141	（4.4） 176,200	（22.7） 917,527	（100.0） 4,035,807
Ｒ４決算	（7.3） 273,526	（51.2） 1,907,635	（8.4） 313,060	（7.6） 284,765	（3.7） 137,500	（21.7） 807,875	（100.0） 3,724,361
Ｒ５決算	（7.7） 282,938	（51.0） 1,862,514	（6.0） 219,465	（7.5） 272,392	（3.9） 143,500	（23.9） 871,416	（100.0） 3,652,225

(4) 主な歳出（　）は構成比

（千円・％）

区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計
Ｒ３決算	（17.6） 669,506	（13.9） 527,686	（14.1） 534,707	（4.9） 187,277	（9.5） 361,265	（7.0） 268,086	（33.0） 1,255,394	（100.0） 3,803,921
Ｒ４決算	（19.8） 681,678	（17.2） 591,503	（14.7） 507,329	（5.8） 201,264	（10.5） 362,617	（9.9） 340,374	（22.1） 760,056	（100.0） 3,444,821
Ｒ５決算	（21.5） 703,548	（19.1） 624,891	（15.1） 495,410	（6.5） 212,252	（8.6） 280,404	（7.4） 241,595	（21.9） 717,431	（100.0） 3,275,531

(5) 税の徴収率（国民健康保険税除く）

（％）

	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち 市(町村)民税	現年課税分のうち 固定資産税		現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち 市(町村)民税	現年課税分のうち 固定資産税
Ｒ５決算	99.3	46.1	99.0	98.9	99.7	Ｒ４決算	99.5	64.3	99.3	99.3	99.7

公共施設整備状況

道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園（認定こども園）	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学	老人ホーム
168,242ｍ	0㎡	85戸	－園 （1園） －人 （60人）	1校 104人	1校 70人	－校 －人	－校 －人	－校 －人	－所

公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率
1館	7所 795㎡	2所 0床	0院 0床	84.5％	86.0％	100.0％	51.2％	15.4％

公営企業（Ｒ５決算）　（　）は法適用企業にあっては経常損益、法非適用企業は実質収支（千円）

（法適用）

（法非適用）
簡易水道（　8,535）
農集排（　0）

主な郷土出身者

蛭田玄仙（江戸時代後期の産科医）
圓井彰彦（陸上部コーチ）
蛭田みな美（女子プロゴルファー）

今後の主要課題

（震災以外）
○子育て支援施策の充実
○義務教育学校設立に向けた、教育・文化環境の充実
○担い手の育成など持続可能な鮫川産業の支援

（特色ある施策）
○デマンド交通の運行
○まめで達者な村づくり
○有機の郷土づくり

（姉妹都市）

主な立地企業

㈱田中ニット鮫川工場、㈱センワ、中井住宅木販㈱、関根軌道工業㈱